

共用品推進機構だより 2017年03月24日(49)

## 目次

### (218) 共用品推進機構関連記事

- ▽「朝日新聞夕刊の「あのとき それから」に  
機構・評議員である田中徹二氏のコメントが掲載されました」
- ▽『「一緒に楽しく使える共用品」が発行されました」

### (219) 各種催しとお知らせ

- ▽『「バリアフリー2017」開催のお知らせ」

### (220) 行政関連記事

- ▽「障害者就農広域で 福祉施設と産地に仲介役／三重県」
- ▽「高齢者の外出、若者が支援 活動資金、ネットで募る／鹿児島・長島町」

### (221) その他、各種関連記事

- ▽「障害者雇用の特例会社／田辺三菱製薬」
- ▽『「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」の全文が公開されます」

### (222) 新刊紹介

- ▽『大宅壮一のことば 「一億総白痴化」を予言した男』
- ▽『障害学研究 12 (2017)』
- ▽『パーソナルアシスタンス 障害者権利条約時代の新・支援システムへ』
- ▽『ベト・ドクと考える世界平和 今あえて戦争と障がい者について』
- ▽『ユニバーサルトイレ 多様な利用者のための環境デザイン手法』
- ▽『障がい者の職場を見に行く 2 学校で働く』
- ▽『知ろう！学ぼう！障害のこと 1  
LD (学習障害)・ADHD (注意欠如・多動性障害) のある友たち』

-----

## (218) 共用品推進機構関連記事

- ▼「朝日新聞夕刊の「あのとき それから」に  
機構・評議員である田中徹二氏のコメントが掲載されました」

『点字ブロックの敷設 安全願って 日本から世界へ』

世界初の「点字ブロック」は1967年3月18日、岡山市の国道にある横断歩道の両側に敷設された。

2001年、警告ブロックと誘導ブロックの2パターンを日本工業規格（JIS）で定めた。

経産省は、国際標準化機構（ISO）の規格化をめざしたが、審議は一度中断。09年から改めて議論を重ね、JIS規格を基本とする「警告」「誘導」のブロック2種が12年に採用された。

### 【社会の理解・関心が必要／日本点字図書館理事長 田中徹二氏】

白杖を使って60年歩いていますが、点字ブロックができて大きく変わりました。ブロックがあることで、この方向に歩いていけば間違いないと非常に安心できます。

欧米は、日本に比べて障害者に親切だと思っていました。でも最近、東京も変わってきました。私が利用している高田馬場駅で電車を降りると「一緒に行きましょう」とすぐに声をかけてもらえます。いま一番必要なのは、社会の人たちの理解と関心。「目が見えない人がいれば手を貸そうか」。そういう気付きではないでしょうか。

（朝日新聞夕刊「あのとき それから」 3月22日4面より抜粋）

- ▼『一緒に楽しく使える共用品』が発行されました」

社会福祉法人桜雲会点字出版部より『一緒に楽しく使える共用品』が発行されました。

近頃、視覚障害者用に作られたものや機能が増えてきました。これらの中には健常者にとって使いやすいものもあり、これを共用品やユニバーサルデザインと言っています。

そこでこの度、みんなが楽しく使える共用品等について、点字・墨字（すみじ）合本で書籍を作成し紹介することとしました。多くの方にご一読いた

できれば幸いです。

発行：(社福) 桜雲会点字出版部

TEL：03-5337-7866

FAX：03-6908-9526

E-Mail：ounkai@nifty.com

---

(219) 各種催しとお知らせ

▼「『バリアフリー2017』開催のお知らせ」

23回目の開催を迎える、西日本最大級の介護・福祉の総合展『バリアフリー2017』、高齢者医療に焦点を当てた唯一の専門展『慢性期医療展2017』、さらには看護職へ向け看護用品や関連サービスの最新情報を発信する『看護未来展2017』を同時開催します。

日時：2017年4月20日(木)～22日(土) 10:00～17:00

場所：インデックス大阪

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102

入場料：無料(入場者登録制)

主催：(社福)大阪府社会福祉協議会・テレビ大阪・テレビ大阪エクスプロ

問い合わせ：

バリアフリー展事務局、慢性期医療展事務局、看護未来展事務局

〒540-0008 大阪府中央区大手前1-2-15

(株)テレビ大阪エクスプロ内

TEL：06-6944-9913 FAX：06-6944-9912

問い合わせフォーム：<https://www.tvoe.co.jp/bmk/contact/>

---

(220) 行政関連記事

▼「障害者就農広域で 福祉施設と産地に仲介役／三重県」

三重県は2017年度から、複数の福祉事業所と産地を結び付け、広域で障害

者が農業に就労しやすくする農福連携のモデルづくりに乗り出す。農業と福祉の知識を持ったコーディネーターを置き、両者を橋渡しする。障害者は就労先の選択肢が増え、農家は雇用の確保がしやすくなる。17年度の「農福連携による次世代型農業モデル構築事業」で取り組む。モデル事業は産地単位で取り組む。

コーディネーターは、地全体が求める労働力の数や時期、内容などを把握。地域にある福祉事業所についても、それぞれ派遣可能な人数やできる作業を確認する。

農家と障害者に農作業の仕方を教える「農業ジョブトレーナー」や、福祉事業所で障害者の生活や仕事をサポートする「福祉事業所支援員」の協力も得る。

(日本農業新聞 3月22日2面より抜粋)

#### ▼「高齢者の外出、若者が支援 活動資金、ネットで募る／鹿児島・長島町」

鹿児島県長島町は車を運転しない一人暮らしの高齢者などの外出を手助けする。専用手拭いを希望者に配り、若い町民が車に無償で乗せる取り組みにつなげる。資金をクラウドファンディングサイトで募り、500枚を作る計画。

「一緒に行こうよ」を意味する方言「ちえぬーで」というフレーズをあしらった手拭いの制作資金を「レディーフォー」で集める。手拭いはスーパーなどにも置く方向。長島町には鉄道がなくバスは便数が限られる。

自家用車がなかったり運転ができなかったりする高齢者らは、買い物や病院に行くのも一苦労だという。そうした人が気軽にヒッチハイクをできる環境を町がつくり、世代間交流にもつなげる。

(日経MJ 3月24日13面より抜粋)

---

(221) その他、各種関連記事

#### ▼「障害者雇用の特例会社／田辺三菱製薬」

田辺三菱製薬は21日、障害者雇用に配慮した連結子会社「田辺パルムサービス」を4月に設立すると発表した。厚生労働省による「特例子会社」認定を目指した新会社で、障害者5人を新規採用する。特例子会社の認定を受ければ親会社と一体で障害者の雇用率を算定できるようになる。2018年4月か

ら障害者の法定雇用率が引き上げられることに対応する。

パルムサービスは田辺三菱製薬の連結子会社でオフィスサービスなどを提供する田辺総合サービスが100%出資し設立する。障害者5人を新規採用し、総合サービスからの出向を含め合計15人の体制で4月3日から業務を開始する計画だ。主に田辺三菱製薬グループの印刷業務や社内郵便業務などを受託する予定だという。

(日経産業新聞 3月22日9面より抜粋)

▼ 『Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン』の全文が公開されます」

「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」はこの度、IPCから最終承認を受けました。定例記者会見でガイドラインの概要版を配布するとともに組織委員会のHP上でガイドラインの概要版及び全文を公開します。

<https://tokyo2020.jp/jp/organising-committee/accessibility/>

※3月24日(金)夕方(17:30頃)以降。公開はPDFファイルです。

---

(222) 新刊紹介

▼ 『大宅壮一のことば 「一億総白痴化」を予言した男』

巨大メディアの落とし穴、自民党一党支配、皇位継承、践履する新興宗教、超高齢化社会の到来…。日本が抱える問題の根っこを、半世紀前にすべて看破した怪物評論家・大宅壮一の傑作コラム集。大宅映子の解説も収録。

著：大宅壮一（おおや・そういち）

編著：大宅映子（おおや・えいこ）

発行：KADOKAWA

本体価格：1200円（税別）

ISBN：978-4-04-601895-3

▼ 『障害学研究 12 (2017)』

障害を社会・文化の視点から研究する障害学の発展・普及をはかる障害学会の学会誌。「障害学生支援の現場と障害学との対話」をテーマとした障害学会第12回大会のシンポジウムを特集するほか、論文やエッセイ、書評等を収

録。

編集：障害学研究編集委員会

発行：障害学会

本体価格：2400 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4484-3

▼『パーソナルアシスタンス 障害者権利条約時代の新・支援システムへ』

「介助者手足論」や「自己決定による自立」を超える当事者主体の共同決定／共同責任という新・支援システム「パーソナルアシスタンス」を、現実のものとするには。国内外の実践に学びつつ、その射程と展望を理論づける。

編：岡部耕典（おかべ・こうすけ）

執筆：山下幸子（やました・さちこ）ほか

発行：生活書院

本体価格：2600 円（税別）

ISBN：978-4-86500-063-4

▼『ベトナム戦争で使われ今も人体に深刻な影響を与える枯葉剤 今あえて戦争と障がい者について』

ベトナム戦争で使われ今も人体に深刻な影響を与える枯葉剤。被害の実際を実証的に紹介し、教訓を生かす日本の平和教育を紹介する。枯葉剤被害の象徴ともいわれる結合双生児の弟グエン・ドクの講演録も収録。

編著：尾崎望（おざき・のぞむ） 藤本文朗（ふじもと・ぶんろう）

発行：新日本出版社

本体価格：1852 円（税別）

ISBN：978-4-406-061254

▼『ユニバーサルトイレ 多様な利用者のための環境デザイン手法』

ユニバーサルデザインとして展開する公共トイレを「ユニバーサルトイレ」と称し、著者らが行ってきた調査研究や、公共施設のトイレ計画・デザインから得た知見を紹介し、多様な人々の利用を想定したデザインモデルを提示する。

著：老田智美（おいだ・ともみ） 田中直人（たなか・なおと）

発行：彰国社

本体価格：2400 円（税別）

ISBN : 978-4-395-32087-5

▼『障がい者の仕事場を見に行く 2 学校で働く』

長年、障がいがある人の仕事場取材してきた写真家・小山博孝が、教師や、給食室で働く人など、学校に関わる仕事をピックアップし、障がいがあってもいきいきと働く人たちの姿を、たくさんの写真とともに紹介する。

文・写真：小山博孝（こやま・ひろたか）

発行：童心社

本体価格：2800 円（税別）

ISBN : 978-4-494-01828-4

▼『知ろう！学ぼう！障害のこと 1

LD（学習障害）・ADHD（注意欠如・多動性障害）のある友だち』

LD（学習障害）と ADHD（注意欠如・多動性障害）のある友だちが気になる行動をするとき、何を考えて、どんなことに困っているのかを解説。読み書きやコミュニケーションの力が身につくゲームも紹介。

監修：笹田哲（ささだ・さとし）

発行：金の星社

本体価格：2800 円（税別）

ISBN : 978-4-323-05651-7

---

（編集後記）

来週で平成 28 年度が終了します。本年度の共用品推進機構の事業にご協力いただき、誠に有難うございました。

弊局主催の委員会も、28 年度は全部で 23 回開催されましたが、お陰様で予定通り終了することができました。

ご参加いただきました委員、関係者の方々、本当にありがとうございました。来年度もまたご協力の程、よろしくお願い致します。（松岡光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>